

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

病院組合ニュース

2024. 10. 31

No.179

愛知県病院事業庁職員組合
〒453-0016 名古屋市市中村区竹橋町36番31号
電話(052)212-8031 FAX(フーアケス)0120-930-340
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp
発行責任者 亀井祐介



三島管理課長(左)に要求書を提出する田島副執行委員長
(亀井執行委員長は緊急業務のため欠席)

10月16日、病院事業庁交渉を行い、令和7年度当初予算計画に関する要求書」を病院事業庁へ提出し、統一要求の趣旨説明、各分会からの個別要求の説明を行い、現場の切実なる願いを病院事業庁へ伝えました。
統一要求の回答は11月中旬、個別要求の回答は1月下旬の予定です。

職場要求書提出

組合アンケートや各分会委員会で出された現場の声を集約し、統一要求で重点的に説明した内容の一部は次のとおりです。
○特定行為研修修了生の看護師の特定行為に對して、資格手当として月額5千円の支給
特定看護師は、例えば医師が外来や手術等で診察が困難な場合でも、手順書をもとに迅速に患者対応し特定行為を実施して医師の負担を軽減することができると、医師の業務の一部を高度で専門的な知識と高いスキルを持つ特定看護師へ移行できることから、医師の働き方改革推進や、医師の負担軽減による安全確保に欠かせない存在となっている。しかし特定行為について、難易度の高い診療

統一要求

の補助業務を医師があらからじめ作成する「手順書」という指示のもと実践しており、本来医師から指示を受ける処置などを看護師が判断するということ、危険性、困難性などが含まれた特殊な業務である。
○新がんセンターの情報提供を随時行うとともに、職員からの意見や要望を反映させるよう調整すること
新がんセンターの整備については、知事部局で進められているためか職員にほとんど伝わっていない状況であり、不安を覚える組合員も少なくない。新がんセンターの施設設備や機能については、現場で患者と接する時間の多い職員の声を聴くことが患者と職員に対してメリットがあると考える。
○院内研修・会議については、勤務時間内にする
出席を確認したりする院内研修や会議は、自己研鑽とは言えず業務命令と考える。業務上必要であれば、勤務時間外に行うのではなく、もう一度、勤務時間内に行うことを前提にして、参加できない職員に対して会議の動画配信とそれによる質問受付などを行うよう求める。
過去に院内で行われる会議について確認し、職務上必要な会議は可能な限り勤務時間内に行うことで整理してきたい。しかし新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、対面での会議が増えつつあり、組合員から時間外に行われる会議の改善の声が出ている。



有希子が時を問ひかけた
和歌山で開催された母親大会に参加しました。そこで拝聴した特別講演「有吉佐和子が時代に問いかけたもの」についてお話ししたいと思います。
今年には作家有吉佐和子さんが没後40年という年だそうです。
今回、有吉佐和子記念館館長の特別講演では和歌山で思春期を過ごしたことや、のちの彼女がテーマとした「自分のルーツからの文化」「人種差別」「認知症」といった社会問題に目をむけて執筆に取り組んだ話もされました。
恥ずかしながら、私は【華岡青洲の妻】「恍惚の人」くらいしか知らず、しかもまともにも読んだことが無かつた。

たのですが、作品の中には少なからず医療をテーマにしているものも有ることがわかりました。華岡青洲の妻では乳がん患者への世界初の全身麻酔による手術について描かれたことはご存じの方も多いのではないのでしょうか。この作品は初の麻酔術に臨む医師を支え、自ら人体実験をかつてする妻と母の話ではあります。決して嫁と姑の美談ではありません。乱暴な言い方をすると医療の発展の下で自己犠牲となることを選ぶ家族にもそれぞれの立場や傲慢さもあり倫理的問題を投げかける内容となっています。
佐和子が医療をテーマに本を執筆するきっかけとなったのが祖母の甥にビタミンAの分離抽出に成功した高橋克己博士など医学的な分野で积淀に貢献した

人物が身近に居たことが少なからず影響を及ぼしたと思われまます。作品「非色」では戦争花嫁を題材にした人種問題、「恍惚の人」では認知症・介護老人問題「鬼怒川」ではPTSDをテーマにするなど昔の作品でありながら現代に通ずる社会問題をすでに提起していました。
今回、和歌山という地で有吉佐和子が未来の私たちに投げかけた残した課題にふれ改めて読んでみたいと思えました。
それにしても、母親大会の名の通り私よりはるかに年上の先輩女性のパワーのすごさには驚きを隠せません。ジェンダー、エイズを謳う現代では不適切かもしれませんが、世界を救うのは心が熱く、たくましいおばちゃん達かも?と思

病院組合青年部交流会
バケモノの子 & ランチコース
10月10日(木) 青年部交流会「バケモノの子&ランチコース」が開催されました。今回は青年部と他組合員の交流を兼ねた会でした。ランチコースの内容は毎回変わるため、毎回違う楽しみがあります。バケモノの子は原作を見ている方は再現度に感動し、見ていない方は物語に引き込まれ、悩みを抱える若者世代に向けてのメッセージがたくさん詰まった素敵な作品でした。映像とは違ったリアルな声量に魅了された日となりました。

わずにはいられない熱気でした。このような問題意識を何歳になっても持ち続けることの重要性和平和へのためまめ努力を感じた和歌山大会でした。
(組合員 Cさん)

病院組合女性部
交流会のお知らせ
テレビ塔の夜景がきれいなレストランでおいしいご飯とおしゃべりをしませんか?
日時: 12月13日(金) 19時~
場所: ザ・タワーホテルナゴヤ (MIRAI TOWER(ナゴヤテレビ塔)) 4階 グリシーヌ
★詳細は職場に配布のチラシをご覧ください★
glycine

